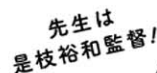


映画ってどうやって作るの？
喜びと楽しさいっぱいの
映画制作ワークショップ



2014年11月22日(土)~24日(月・振休)

@早稻田大学演劇博物館





エンパクってなに？



ほんとうのなまは早稲田大学坪内博士記念演劇博物館にいます。日本でたてつ、演劇について専門的にあつまっている博物館です。今から86年も前に建てられたエンパクは建物自体がお芝居の劇場のようになっています。その舞台の正面に書いてあるのは「全世界は劇場なり」というラテン語だそうです。どういう意味でしょう？

こども映画教室ってなに？



こどもたちで映画を観て、みんなで映画の話をしたり、映画のおもちゃを作って、どうして映画って動いて見えるのか学んだり、友だちと協力して映画を作ったりする教室です。映画をつくるときは、監督、脚本、撮影、録音、出演、編集、そして上映も、ぜんぶこどもたちが担当します。映画のことをなんにも知らなくても大丈夫！ プロの映画監督や大人スタッフ、チームの友だちとみんなで意見を出し合いながら映画を作っていきます。

今回の先生は是枝裕和監督(『そして父になる』)ですよ！

3日間で作品を制作、最終日には早稲田大学大隈小講堂で舞台挨拶と上映会をおこないます。

【日程】……2014年11月22日(土)～24日(月・振休)

各日10:00～17:00(最終日のみ10:00～18:30)

【会場】……早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、大隈小講堂

【対象】……小学生／定員：30名(締め切り前に定員に達した場合は抽選)

【参加費】……無料



是枝裕和監督 プロフィール



1962年、東京生まれ。87年に早稲田大学第一文学部文芸学科卒業後、テレビマンユニオンに参加。主にドキュメンタリー番組を演出。14年に独立し、制作者集団「分福」を立ち上げる。主な監督作品に、主演の柳楽優弥がカンヌ国際映画祭で史上最年少の最優秀男優賞を受賞した『誰も知らない』(04)、『歩いても歩いても』(08)、自身初の連続ドラマ『ゴイング マイ ホーム』(12)、カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞した『そして父になる』(13)等がある。現在、15年初夏公開予定の『海街diary』を制作中。2014年から早稲田大学理工学術院教授。

映画教室、すごく面白かったです！今回が初めての参加で緊張していましたがチームの仲間とすぐ仲良くなれました！じぶんたちだけで映画をつくるのがこんなにむずかしいとは…。最初の一秒から最後の一秒まで、ほんとうに楽しかったです。(後略)
★小学5年生



さいしょ楽しい映画ができるか、しんぱいでした。ようせいのへんところが楽しかったです。上映会するとき、心臓がどきどきしました。上映会がおわると、ほっとしました。また、自分のはんが一番きょうよくできていたと思いました。なぜなら、いけんを、出しあっていたからです。
★小学2年生



お問合せ・お申込み

「こども映画教室」事務局

- ★こども映画教室HP <http://www.kodomoeiga.com>の申込みページよりお申し込みください。
- ★締切：10月31日(金) ＊締め切り前に定員に達した場合は抽選となります。
- ★お問合せ：info.kodomoeiga@gmail.com ★申込みは全日程参加可能な方を優先いたします。
- ★ワークショップの参加は原則としてお子さまのみです。保護者の方は、会場までお子さまの送迎をお願いします。
- ★お申込み時にいただく個人情報は、「こども映画教室」活動のご案内にのみ使用し、第三者への提供、その他の目的には使用しません。

「こども映画教室@ヨコハマ2014」みんなの感想文集より

主催：早稲田大学演劇博物館 地域と共働情報発信基地を目指す演劇博物館実行委員会 協力：こども映画教室 後援：新宿区教育委員会、新宿区

文化庁

enpak

こども映画教室

DOLBY

